

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)藤沢団地建替事業 新築工事	階数	地上15F
建設地	藤沢市藤が岡一丁目13番	構造	RC造
用途地域	1種中高層住専・準防火地区	平均居住人員	1,260 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年6月 予定	評価の実施日	2015年10月26日
敷地面積	10,102 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社長谷工コーポレーション
建築面積	3,769 m <sup>2</sup>	確認日	2015年10月26日
延床面積	28,357 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社長谷工コーポレーション



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.5**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア 3.3

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.5

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.6

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.8

**LR 環境負荷低減性** LRのスコ 3.4

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.5

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
周囲の自然環境を取り込み、自然と建築物、多世代が同じ空間に存在することが出来る空間を創造する。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
・住戸の開口部にはカーテンレールを設置し、日射に対して配慮している。	空調・給排水管の主要3種のうち2種以上がC以上になっている。	・自治体が定める景観計画区域の基準に基づく色彩配置とする。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・エコジョーズ採用により、エネルギーの有効利用を図った。また有効な通風と採光が確保されている。	・躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている。	・雨水貯留槽にて、雨水流出抑制を行い敷地外に対して配慮を行っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される